

発行日/2017.11.1

嘉麻市社協だより

えがよ

No. 141

～大隈年輪サロン～ 恒例の鮭神社清掃活動



「地域の集まりが元気の秘訣です」



か ま たい 嘉麻い隊うすい(碓井地区協議体)

テーマ「本当に必要な仕組みを知るための調査」

地域にとって本当に必要な仕組みをつくりたいとの思いから、みなさんの心配なことや不安なことを把握するため、アンケート調査から始めました。その中で、災害をテーマに日頃の生活を考えてみようということになり、碓井地区の自主防災組織について話を聞き、地域づくりを考えています。

自主防災組織からのヒントを得て、「困った時に相談できる。困った人に気づいてあげられる。そんなアンテナ役の人が地域に増えたらいいな」と感じるようになりました。日頃から顔の見える関係づくりを地域に広げ、災害などの緊急時でも協力しやすく、普段の生活に安心感が生まれる、そんな地域にするために、自分たちにできることを考えています。



暮らしていくために 5つの協議体～

開催しました。
半年を迎えました。住み慣れた地域で暮らし生活に思いをはせながら、楽しく、熱く、そして容を発表し合いました。



嘉穂ますます会(嘉穂地区協議体)

テーマ「行きたいところに行ける仕組み」

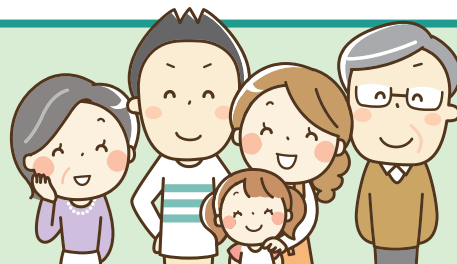
嘉麻市の中でも一番面積が広く、高齢化率も高いため、移動に困っているとの声が多く聞かれました。嘉麻市交通体系対策係やタクシー会社、バス会社に話を聞き、乗り合いタクシーの仕組みができないか考えています。その中で、民生委員さんに協力してもらい、どこの地域で、どんな方がどんなふう買い物に困っているのかを把握する調査を行いました。その結果、移動に困っている地域や負担する料金はいくらぐらいなど、行政区ごとの実情を知ることができました。まずは、お試し乗り合いタクシーが実施できないか、考えていきたいと思っています。

なつきちゃんにし (稲築西地区協議体)

テーマ「買い物や通院等の移動の仕組み」

地域のいいところや課題を考える中で、移動に困っている方がおられることが分かりました。予約乗り合いタクシーについて調べたり、嘉麻市商工会に話を聞く中で、制度上の壁や地域の商店の実情を知ることができました。そんな中、社会福祉法人稲穂会が、「地域貢献事業の一つとして一緒にしましょう」と言ってくださり、まずは、買い物に行くための仕組みづくりを考えています。買い物に困っている方やその方を知っている方からの相談に応じられる仕組みづくりを目指しています。

また、新たな仕組みづくりに取り組んでいる会社があることもわかりました。今後も、地域にある社会資源を活用した取り組みを、協議体で考えていきたいと思っています。



協議体は、地域のことをよく知っている市民や関係者が集まって、自分たちがどんな地域で暮らしたいかを話し合う場なので、どなたでも参加できます。



さわやか福祉財団の
阿部かおりさんから、
今後の協議体について、
話してもらいました。

なつきちゃんひがし (稲築東地区協議体)

テーマ「幅広い世代の方が交流できる居場所」

平成28年に開催した勉強会の中から、「まずは地域の方が集える居場所づくりをやってみよう」との声が上がり、40周年記念公園の花壇づくりや鴨生町公民館横の駐車場でラジオ体操が始まりました。参加された方同士のつながりが深まり、いつでも集える場所ができ、健康への意識も高まりました。活動を通して子ども会とのつながりや通学途中の小中学生との交流、地域の気になる方への訪問など、活動の範囲は広がっています。

稲築東地区では、すでに活動しているグループがたくさんあるため、これからは福祉の枠を超えたネットワークづくりを目指していきます。

あっとふるやまだ (山田地区協議体)

テーマ「自分で商品を選び買い物できる仕組み」

歩いて行ける場所だけでは、生活に必要なものがそろわない。本当は自分で商品を見て買い物したいとの声が多く上がりました。そこで、地元の商店や生産者に声かけし、お試して移動販売をやることになりました。移動販売には、買い物の場が地域の交流の場になり、コミュニケーションを通して、見守りや安否確認の場になることが期待されています。

実施するためには、制度上の壁や地域のやむを得ない事情があることがわかりました。まずは、移動販売に来てくださった方々に、現在の買い物の状況をお聞きし、これからの協議体で、自分たちにできることを考えていきたいと思っています。

住み慣れた地域で ～私たちが主役

平成29年9月26日(火)、協議体全体会を今年4月に発足した5つの協議体が、ていくために、自分たちのほんの少し先の時には厳しく、協議体で話し合ってきた内



熊ヶ畑地区でお試し移動販売を開催

平成29年10月10日(火)、山田活性化センターで移動販売を開催し、約30名の方が利用されました。グリーンコープや清浄学園が出店され、生鮮食品や加工食品、パンなどが並び、利用された方同士で、話をしながら買い物を楽しんでおられました。

利用された方からは、「歩いて行ける場所で買い物できて良かった」、「移動販売があったら、ぜひ利用したい」との声が多く聞かれました。また、協議体メンバーからは「座ってお茶を飲めるような場所があれば、市民同士の交流ができ、楽しみに繋がるよね」との意見がでました。

今後も、山田地区の買い物の仕組みづくりについて話し合っていきたいと思っています。

市民後見人を目指して

フォローアップ講座開催

9月19日から11月15日までの間、市民後見人養成基礎講座を修了した方を対象に、より知識を深めることを目的とした「平成29年度市民後見人養成フォローアップ講座」を開催しています。

9回の講座では、経験豊かな講師の方々から「必要な法律の知識」や支援する上で大切にしなければならない「自己実現、自己決定を尊重した支援」などを学びました。

市民後見人を目指す方々にとって、実践に即した内容で、グループワークでも活発な意見交換が行われました。



熱心に話を聞く受講生のようす



実習では、施設の方がわかりやすく説明してくださり、理解が深まりました

また、特別養護老人ホーム第二稲穂園、障害者支援施設三愛園、山田学園での施設実習では、利用者の方々とふれあい、市民後見人として、コミュニケーションの大切さを学びました。

実習後は、本会が取り組んでいる権利擁護事業についての講義とグループワークを取り入れた事例検討をもって、本講座は修了となります。

講座を修了されたみなさんは、本会のかま権利擁護センターが募集する市民支援員に応募することが出来ます。ぜひ、地域における支え合いの輪を広げていく一員として一緒に活動していただきたいと思えます。



嘉麻市漆生出身で、現在は、春日市で成年後見人として活躍されている司法書士の山田剛やまだつよしさんに、成年後見制度について教えていただきました。

Q 成年後見制度は、どんな時に利用すればいいの？

A 成年後見制度は、判断能力が低下した方を保護

するために、一定範囲の親族などの請求によつて、家庭裁判所がご本人の保護者である成年後見人（保佐人、補助人を含みます）を選任して、成年後見人が本人に代わつて、財産管理と身上監護を行う

制度です（以下、高齢の方を前提とします）。

そこで、本人の判断能力がいくら低下しても、親族などの請求がなければ、家庭裁判所が成年後見人を選任することはありません。また、親族が本人の財産をしっかりと管理できれば、通常は成年後見制度は必要はありません。

ただし、親族が財産を管理できるときでも、本人を含めて遺産分割協議を行うときや、本人の不動産を売却しなければならぬときなどは、親族であっても本人の財産を処分する権限はないため、成年後見人を選任しなければなりません。

したがって、本人の財産管理ができていないときや、できているときでも遺産分割協議や本人の財産を処分する必要があるとき、ということになります。

新たな地域貢献活動に向けて

～かま福祉ネットワーク委員会～

9月22日(金)、稲築住民センターにおいて、かま福祉ネットワーク会議を開催し、市内の12社会福祉法人17施設から26名の職員が参加しました。



今年から集めることになった会費を有意義に活用するため、想定されるケースについて話し合いました。総合相談時に使用する聞き取りシートや法人同士の連携方法、研修会の開催など、様々な意見が出されました。

次に、5つの中学校区で開催している協議体の中で、買い物や移動手段など、地域には解決できていない課題があることを報告しました。社会福祉法人と連携することで、解決に向けた取り組みを模索していけるため、協議体への参加と協力を呼びかけました。

本委員会では、社会福祉法人のネットワークを生かしながら、自分たちにできることを一つずつ実施していこうと考えています。まずは、今回話し合った内容をもとに、活動の準備を始めていきます。

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

9月26日に協議体全体会が開催されました。嘉麻市にはいくつの協議体があるでしょうか？

- (1) 5つ
- (2) 4つ
- (3) 3つ

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、11月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え

(3) 稲築住民センター

ひきこもりについての勉強会は、「稲築住民センター」で開催されました。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・毎月、色んな活動報告が掲載されているので、地元地域でどのようなことがあっているのか知ることが出来て良いです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

今月のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記「嘉麻市社協のブログ」を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。
<http://kamasakyko.sakura.ne.jp/wp/>
(ブログのアドレスが変わりました)

稲築志耕館高校のみなさん

2017年9月15日(金)

9月15日(金)、稲築志耕館高等学校を代表する1年生5名が、放課後にアルミ缶やリングプル、古切手や未使用ハガキを持って来てくださいました。本会では、自主財源の確保と環境美化に寄与するため、アルミ缶等のリサイクル可能な資源を回収しています。

生徒さんから「嘉麻市社協のブログはどうやって見るんですか」と尋ねられ、本会ホームページからのアクセス方法を伝えました。その場で検索される様子を見て、改めて、情報発信することの意味や受けとってくださる方がいらっしやることを実感しました。

みなさんの笑顔や楽しそうな雰囲気、とても爽やかな気持ちになりました。

稲築志耕館高等学校のみなさん、本会のアルミ缶等リサイクル事業にご協力ありがとうございました。



出前講座(出川公民館)

2017年9月28日(木)

9月28日(木)、出川公民館で協議体の出前講座を行い、17名の方が参加されました。

碓井地区の協議体「嘉麻い隊うすい」では、災害をテーマにした地域づくりを進めています。その中で、Aさんの困ったやBさんの不安だよの声に気づき、届けてくれるアンテナ役の人を地域に増やしていきたいと考えていることみなさんの思いや声を地域づくりにつなげるためにも協議体の多くの方の参加が必要であることなどを話しました。

講座終了後は、参加者のみなさんに出川行政区のことを教えていただきました。災害のリスクが高いと言われている琴平山に面していることや近所のCさん宅の裏庭の草が伸びていること、地域のみなさんで見守っているご家庭があることなど、地域に住んでいるからこそ気づける情報をみなさんと共有しました。





街頭募金ボランティア

10月1日から、赤い羽根共同募金運動がスタートしました。10月6日(金)は雨のため中止しましたが、10月1日(日)、7日(土)、8日(日)の3日間、市内のスーパーやコンビニエンスストアなどで街頭募金活動を行いました。

今年も、各地区の民生委員児童委員さんや稲築地区福祉推進員さん、かまボランティア・市民活動センターに登録しているボランティアさんなど延べ106名の協力を得て実施することができました。



街頭募金を実施した3日間は、天気にも恵まれ、老若男女問わず、たくさんの方々に募金をしていただきました。「今日も頑張ってるね」、「暑い中大変だね。体調に気をつけてね」と、温かい言葉をかけていただき、励みになりました。

初めて募金の呼びかけに参加した方に感想を聞くと、「実際に呼びかけてみて、募金活動への意識が変わりました」、「小さな子ども達が募金してくれてうれしかったです」と、話してくださいました。

ボランティア募集情報

入居者の方と楽しくお話

特別養護老人ホーム松寿園では、入居者の話し相手、レクリエーションのお手伝いをしていただける方を下記のとおり募集します。

記

日時 月曜日～金曜日
※可能な時間帯で構いません。

場所 松寿園(嘉麻市漆生2338-1)

内容 話し相手、レクリエーションのお手伝いなど

備考 動きやすい服装、室内履きをお持ちください。

イベント情報

平成29年度第21回 福岡県立嘉穂特別支援学校「アート展」

飯塚市のイオン九州株式会社穂波店で、嘉穂特別支援学校小学部1年生から中学部3年生までの児童生徒の作品が展示されます。ぜひご覧ください。

日時 平成29年11月29日(水)～12月5日(火)
午前9時～午後9時(最終日は午後3時まで)

場所 イオン九州株式会社 穂波店 1階ふれあい広場
(飯塚市枝国長浦666番地48 TEL0948-26-1717)

出品作品 (小学校1年生～中学校3年生までの児童生徒の作品)
手作りタンブラー、手作りギター、貼り絵、海の生き物(粘土細工)、絵本をテーマにした大作、スタンプ絵など

問い合わせ先 福岡県立嘉穂特別支援学校(担当:小田)
電話 0948-42-1511
FAX 0948-42-4508



「誰かボクに、 食べものちょうだい」

著者 赤旗社会部子どもと貧困取材班
発行所 株式会社 新日本出版社



地域で暮らしている子どもたちの中で、毎日十分なご飯を食べられない子がいるという話を以前聞いたことがあります。どのような本を読もうかと考えている時に、インパクトのあるこの本のタイトルが目に入り、「子どもたちがどのような生活をしているのか知りたい」との思いで読んでみることにしました。

この本は子どもたちの貧困について取り上げています。ゆっくりでもいいから困難な状況に対

する解決策を一緒に考えて、助け合える社会を目指しているという著者の思いが書かれています。また、保育現場や学校、施設などで過ごす子どもたちの置かれている環境について、実際の出来事をもとに分かりやすく描かれています。

「親なんかいらぬ」など行き場のない想いを抱える子や「この学校の生徒会は私に生きる勇氣を与えてくれた」と自分なりに生きる意味を見つけて生活している子達の声も掲載されており、普段聞くことができない子どもたちの本音を知ることができました。

食生活、生活環境など解決すべき課題は様々です。貧しきによつて、夢や意欲を奪われ、格差が広がっていくことも考えられます。

困難な生活状況は個人の責任と抱え込むのではなく、社会全体で支えあつて解決していく姿勢が求められており、貧困の連鎖を断ち切るためには人と人との「つながり」が大切なのだ、この本を読んで感じました。

(いとう)

炭 鉱 の 記 憶

No.128

生前、炭鉱で働いていた父親の喜田睦雄さんの話を、旧碓井町にお住まいの娘さんから伺いました。火薬を取り扱う資格をお持ちだった睦雄さんは、爆薬を使い岩石を壊す発破の仕事をしていたそうです。上山坑や山野坑、漆生坑など複数の炭鉱で勤務されていました。仕事の中では、当事者にしか知られていない事故も起き、掘削中に岩の下敷きになったことも多々あったそうです。

たくさんのお思い出の写真をしながら「父がいてくれたから今の私がいるんですね。実は祖母も石炭を選別する選炭の仕事をしていましたよ。」と聞き、命がけで働く鉱員やそれを支えるご家族の暮らしを想像しました。

2世代に渡つて炭鉱の仕事に携わった貴重な話を伺い、炭鉱の時代があつて、今の私たちがここに在ることを改めて感じる時間となりました。



選別後の石炭を乗せたトロッコが走っていた線路。向かって右側上段で腕組をする睦雄さん。



久恒炭鉱の長屋の前で撮られた葬儀のときの写真。当時、冠婚葬祭は近所のみなさんが協力し合つて行われていました。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

— 将棋大会で優勝は小学2年生! —

平成29年9月10日(日)、山田ふれあいハウスにて将棋大会を開催しました。日頃から、山田ふれあいハウスで将棋を楽しんでいる方がお孫さんと一緒に参加されるなど、市内外から6名の参加がありました。

注目を浴びたのは、最年少で参加した小学2年生の児美川れお君^{こみがわ}。積極的な攻めの将棋に、対局者は驚きや感心した表情を浮かべられ、「まいりました」の声で勝敗が決まりました。児美川君は、「強い人がいて、将棋は難しいなと思いましたが、楽しかったです」と、笑顔で話してくれました。



| | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------|
| 第三位 たなかきよたか 田中清隆さん | 準優勝 くまがいよしと 熊谷義人さん | 優勝 児美川れお君 |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------|

連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 ☎0948-52-1847



ひさつね会館では、経験豊かなスタッフが誠心誠意真心を込めて、故人の旅立ちのお手伝いをさせていただいております。お客様のご予算に合わせて適切なプランを提供いたします。その他事前相談も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



嘉麻市上山田猪之鼻971-4
☎ (0948) 52-0758

指定葬祭場紹介
ひさつね会館

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、ひさつね会館を含め、市内に8ヶ所あります。

いすや会館…………… ☎57-4444
セレモニーホールおおつか…………… ☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館…………… ☎62-5566
善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000

おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420
飛鳥会館 南斎場…………… ☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井斎場…………… ☎62-4499

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

9月1日～9月30日受付分

◆香典返し

〔枝坂〕

親族 古賀 文子 様
故 古賀 彌吉 様

〔尾浦第二〕

親族 佐伯 時子 様
故 佐伯 義人 様

〔中山田上〕

親族 山崎 秀二 様
故 山崎 都紀子 様

〔桑野〕

親族 有江 健三 様
故 有江 イツエ 様
親族 柿坂 忠生 様
故 柿坂 チトセ 様

〔漆生本村〕

親族 松熊 和幸 様
故 松熊 幸子 様

◆一般寄附

〔市外〕
嘉穂の名水愛好者一同 様

◆物品寄附

〔子育てリユース〕

鴨生第一 大和 亨子 様
飯田 佐藤 麻美 様
飯塚市 木下由佳里 様
飯塚市 盛 啓子 様
田川市 小松 直子 様

〔アルミ缶〕

漆生本村 匿 名 様
漆生本村 松熊 彩香 様
漆生本村 松熊 涼太 様
漆生中央 田中茶舗 様
漆生中央 大丸 修司 様
漆生南部 岩田 勇治 様
漆生南部 西田 幸子 様
漆生南部 市原登志彦 様
漆生南部 西岡 聖 様
鴨生第一 花村 誠市 様
鴨生第一 渡辺 勝美 様
平第二 松岡 俊秀 様
漆生東 匿 名 様
百々谷 樋口 哲哉 様
下益 匿 名 様
上西郷 山口 春雄 様
口春行政区11組 様
嘉麻市身体障害者福祉協会 様

稲築志耕館高等学校一年生 様
稲築支部 様

〔リングプル〕

石ヶ崎シニアクラブ 楠 様
稲築才田 木下日出子 様
山野第一 粕井 敦 様
山野第一 粕井 利江 様
山野第二 古賀 絹江 様
鴨生町 後藤ノブ子 様
平第二 松岡 俊秀 様
平東 匿 名 様
枝坂 森 章枝 様
鴨生北町 山崎 恵子 様
下宮 三好 邦央 様
木城 樋口えり子 様
大橋 姉川 亮太 様
屏 粕井 節子 様
稲築志耕館高等学校一年生 様
つばき学園グリーンエコ班 様
ダスキん嘉穂 様
鎌田病院 様

〔古切手〕

鴨生第一 藤井 幹浩 様
鴨生町 後藤ノブ子 様
蛭子 武田 悦子 様
誠心園 様
清浄学園 様
教育ナビゲーション(株) 様
グラントベルズ飯塚 様
稲築志耕館高等学校一年生 様
稲築志耕館高等学校一年生 様
〔未使用はがき〕
稲築志耕館高等学校一年生 様
〔使用済テレカ〕
鴨生町 後藤ノブ子 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

9月1日～9月30日受付分

〔平東〕佐伯照雄、岩井モリ子、平川勝利、梶原信義、入江、小坪、山口、石川、中嶋シズ子、梶正司、縄田進、匿名、杉原芳子、佐藤侃恵、小瀧清美、酒井ヒロエ、芳野正則、加藤友二郎、西田鉄也、篠原千登勢、岩本紀子、松尾正則、下土居幸子、永井英雄、岡本桂子、高松キミエ、園口数利、鬼丸好輝、佐藤正、梶原清、高橋正吉、横谷富士江、鷺山

誠、金部綾子、梅林道子、林田政光、西まゆみ、佐野圭志、藤田義輝、宇野泰司、末武勲、堤勝、角谷恵子、山本重勝、飯田和代、野口清司、瀬戸山淳、田中弘光、服部光孝、久保田範子

〔枝坂〕白土綾乃

〔天神〕城丸政治、松岡一彦、

松岡由美、米澤八重子、松岡

梅香、鳥居香代子、鎌田ムメ

子、木下俊明、城丸貴久枝、

島田睦男、島田久子

〔下午限〕秋吉裕子

〔上臼井上〕犬丸寿美子

〔県外〕櫻木和子、鎌田靖



12月の総合相談

法律相談

と き: 12月7日(木)
13:00～16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス
と き: 12月21日(木)
13:00～16:00
と ころ: 稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。
先着順となっておりますので、
お早目にお申し込みください。

心配ごと相談

と き: 12月13日(水)
13:00～15:00
と き: 12月27日(水)
13:00～15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも
稲築住民センターです。

ふるさとへの
手紙 No.141



北九州市小倉南区
在住

てらはま ひろき
寺濱 大樹さん
嘉穂郡稲築町 出身



地元の少年野球チーム

私は、母親が本屋を営んでいた嘉穂郡稲築町に生まれました。

小さい頃は友達と自転車に釣竿を差し込み距離など関係なくどこまででも行き、釣りをしていました。5年生の時に友達から少年野球に誘われ、稲築ヴィクトリーというチームに入り、そこからは学校が終わればグラウンドで暗くなるまで野球をしていた事が思い出として蘇ってきます。たまに野球が休みの日でも外で遊ぶ事が好きで、家の中でゲームをした記憶はほとんどありません。

それから高校を卒業と同時に北九州市へ移住し、最初の頃は寂しさのあまり結構な頻度で稲築の実家に戻っていました。毎週金

曜日の18時に会社が終わる自家用車を持っていなかったため、そのまま近くの南小倉駅へ行き電車に乗って地元に戻っていたのを今でも鮮明に覚えています。当時は北九州から戻るには田川後藤寺駅で乗り換え、実家近くの駅まで帰っていました。電車の中では、一人寂しく窓の外を眺めながらどんどんと広がっていく田園風景が今でも懐かしく思います。ある日、月曜日の朝に北九州へ戻ろうと起床し、時計を見るとビックリ！寝坊です。頭が真っ白になりとっさに私はタクシーに飛び乗り北九州の会社まで行き、一万円以上の運賃を泣きながら運転手さんに支払った記憶があります。

今では北九州市で念願のマイホームも建て、妻と元気の良い息子と娘の4人で平凡ながら幸せに暮らしています。

今の嘉麻市は、少年野球チームが少なく子供たちが一生懸命に白球を追う姿が少なくなつたと聞き、少し寂しく感じています。これからも元気に走り回る子供たちを離れた地で応援したいと思っています。

編集後記



(おがわ)

かま福祉ネットワーク委員会では、市内の社会福祉法人から拠出いただいた会費を有効に活用できるよう、新たな取り組みについて、みんなで考えました。



(ふじい)

今回の街頭募金は、場所を提供くださったお店やたくさんの方々の協力があって、実施することができました。温かいご支援ありがとうございます。



(なかの)

表紙の大隈年輪サロンに伺い、鮭神社の掃除に参加しました。当番は決めず地域の方が自主的に集まっておられます。みなさんの笑い声を聞き、とても心強く感じました。



(いとう)

今月の一冊では、子どもたちの貧困の実態について書かれた本を紹介しています。困難な状況にある方たちを孤立させない、地域の中のつながりづくりが求められているのだと感じました。



(やひろ)

協議体全体会では、5つの地区それぞれが取り組んできたことを発表しました。テーマや進め方が多種多様で、各地区の良いところを改めて実感しました。



(まつく)

9月19日より開催しているフォローアップ講座では、受講生のみなさんと一緒に、私もたくさんのごことを学んでいます。講座修了後も、みなさんと一緒に地域を支えていきたいと思っています。

空き家管理住まいるサービス

嘉麻市内では、ポストに郵便物がたまっていたり、雑草が生い茂っていたりする空き家を目にすることが増えています。

本会では、市内の空き家を適切に管理していくことで、所有者だけでなく近隣の方にも安心をお届けする「空き家管理住まいるサービス」を実施しています。このサービスは、月に一度、空き家となっている家屋を訪問して敷地内外のチェックや通水、換気などを行うほか、大雨や台風などの有事前後の見回りなどを行うもので、現在は9軒を管理しています。

嘉麻市内にある空き家の管理でお困りの方は、ぜひご相談ください。

対象家屋 嘉麻市内にあり、本人、配偶者、子または父母が所有者となっている家屋。

※公営住宅や賃貸、商用物件は除きます。



お問い合わせ先
嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751